



2024 年 5 月 17 日

## 横浜銀行との業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」の新たな計画について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 片岡 達也）との間で結んでいる業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」（以下「C Y P」）において、新たな 5 か年計画を策定しましたのでお知らせします。

C Y P は、高齢化の進展や人口減少、デジタル技術の進展などの経営環境の変化に対して、ともに首都圏を経営基盤とする同規模の地方銀行同士が相互に協力してノウハウ共有や協業をおこない、地域のお客さまへより付加価値の高いサービスを提供することにより、両行の持続的な成長と企業価値向上に資するものとして締結した業務提携です。

2019 年 7 月から開始した当初計画の 5 か年では営業部門での連携を主体に置き、顧客相互紹介を中心とした取引基盤の拡大やファイナンス分野での連携、個人向け運用商品やローンの共同開発等を進め、当初計画を大幅に上回る 359 億円の提携効果額を生み出しました。新計画では法人・個人のお客さまへのソリューション提供機能を一段と強化するとともに、営業部門以外にも提携範囲を拡大し、両行の経営基盤の強化に向けたサステナビリティ分野における協業も検討していきます。

千葉銀行は今後も、地域の課題解決に取り組むとともに、地域経済の持続的な成長や活性化に貢献していきます。



### 1. 新計画の概要

コ ン セ プ ト ( め ざ す 姿 )	首都圏のプレゼンス向上 ～千葉・横浜だからこそできる お客さまのための価値創造～
実 施 期 間	2024年度～2028年度（5年間）
目 標 効 果 額	250億円（さらなる上積みをめざして提携効果を追求） <ポイント> ・法人分野を中心により実効性の高い施策にフォーカス ・目標効果額に加え、各連携分野でK P I を設定し提携効果を計測 （参考）2019年からの当初5か年計画では目標効果額200億円に対して実績359億円にて着地

## 2. 今後の協業の方向性

法人分野	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 都内店を中心とする営業店連携の拡充 (サステナブルファイナンス、不動産ノンリコースローン、LBOローン)</li><li>✓ 海外拠点における海外案件発掘 (協調融資、セミナー・商談会)</li></ul>
個人分野	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 「資産運用立国の実現」に資する連携</li><li>✓ フィデューシャリー・デューティ (FD) の実践に向けた取組み</li></ul>
デジタル分野	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ デジタル人材育成や広告ビジネスにおける協業施策の検討</li><li>✓ デジタル新事業創出に向けた知見・ノウハウの共有</li></ul>
サステナビリティ分野	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 両行のESG戦略に貢献する取組みの強化 (脱炭素、人的資本、ガバナンス等)</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 両行のインオーガニック成長に向けた共同投資等の検討</li></ul>

以 上